

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-008717

(43)Date of publication of application : 16.01.2001

(51)Int.Cl.

A44C 9/00  
A44C 5/00  
A61N 5/06

(21)Application number : 11-185141

(71)Applicant : FUJIOKA KAZUKO

(22)Date of filing : 30.06.1999

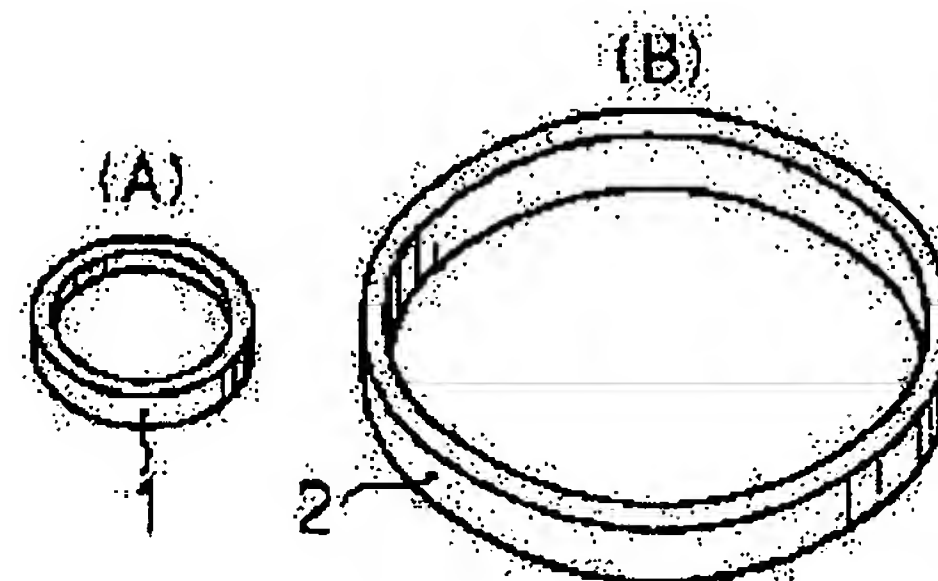
(72)Inventor : FUJIOKA KAZUKO

## (54) HEALTH RING

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To maintain and promote health by vulcanization molding of the raw material prepared by incorporating a specific amount of metallic powder, such as titanium oxide, which is mainly composed of succinite and has an effect of stimulating the human body by radiating slight radiations into rubber to a ring for fingers, etc., and wearing the molding.

**SOLUTION:** The powder mixture which is mainly composed of the succinite powder containing succinic acid activating all the enzymes of organisms and is compounded with plural kinds of metals, such as titanium oxide, radiating radioactive materials is incorporated at 50 to 150% by weight into the raw material for forming rubber and the mixture is subjected to vulcanization molding, by which the annular ring 1 or arm ring 2 is manufactured. The succinite to be compounded with the rubber raw material is the product resulted from the fossilization of the resins of pine and oak tree plants in the ground and is an amorphous organic compound containing the resin acid, such as succinic acid. The succinic acid regulates the physiological functions of the organisms. The titanium oxide radiates far IR rays to the skin and has an effect of relieving the pain of the muscles and accelerating blood circulation. Silver oxide, tungsten oxide, etc., are usable as the metallic powder.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-8717

(P2001-8717A)

(43)公開日 平成13年1月16日(2001.1.16)

(51)Int.Cl. <sup>1</sup>	識別記号	F I	テームド*(参考)
A 4 4 C 9/00		A 4 4 C 9/00	3 B 1 1 4
5/00	5 0 2	5/00	5 0 2 D 4 C 0 8 2
A 6 1 N 5/06		A 6 1 N 5/06	Z

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平11-185141

(22)出願日 平成11年6月30日(1999.6.30)

(71)出願人 599091520

藤岡 和子

広島市西区楠木1丁目14番10-803

(72)発明者 藤岡 和子

広島市西区楠木1丁目14番10-803

(74)代理人 100074055

弁理士 三原 靖雄

Fターム(参考) 3B114 AA03 AA04 AA11 AA25 BA11

CC07 JA09 JB05

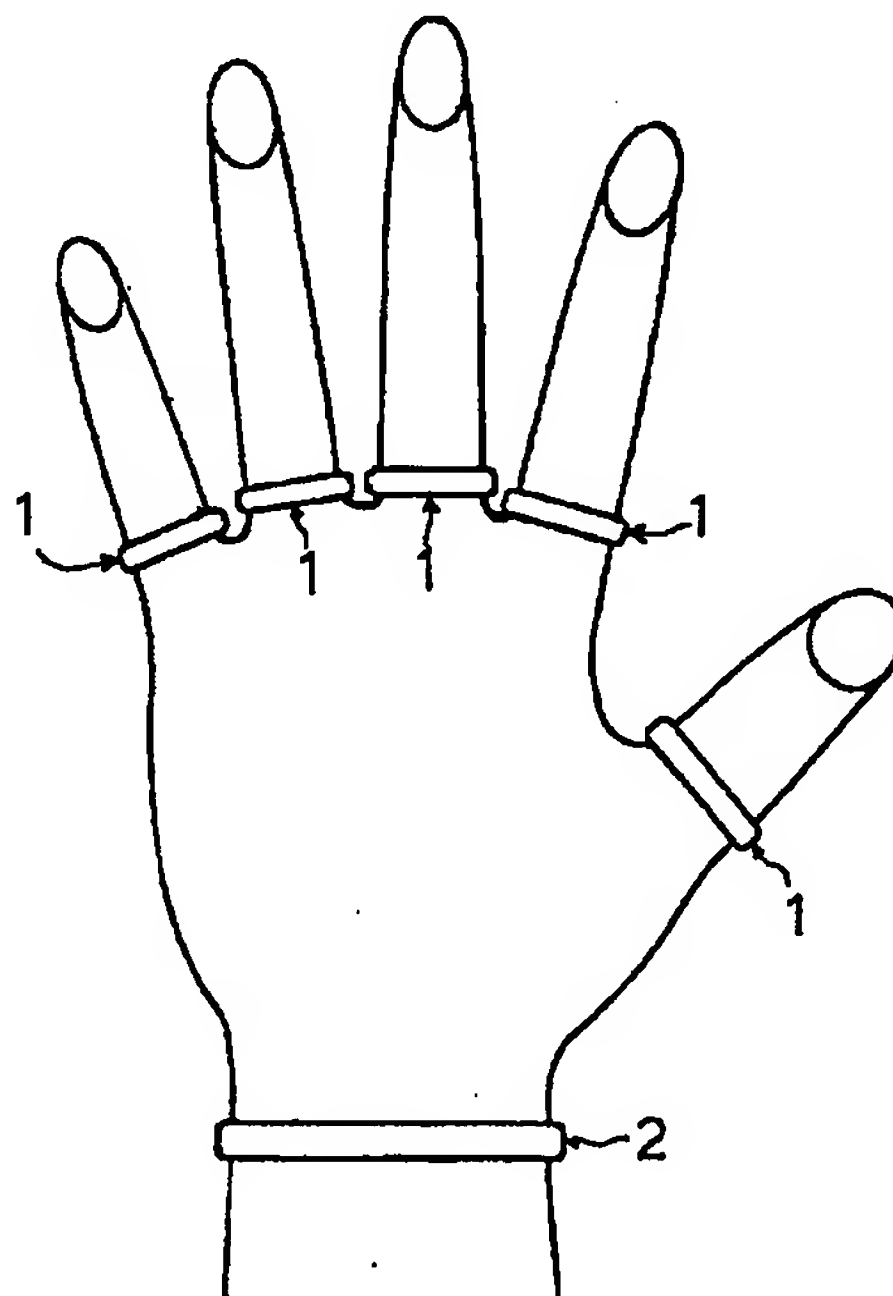
4C082 PA06 PC09 PE10 PJ11 PL05

(54)【発明の名称】 健康リング

(57)【要約】

【課題】日常身に着けて健康の維持増進を図る、指用リングと腕用リングを安価に提供すること。

【解決手段】ゴム成形原料に、少なくともコハク粉末と酸化チタン粉末を混入して、指用リングまたは腕用リングに加硫成形したものである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ゴム成形原料に、少なくともコハク粉末と酸化チタン粉末の混合物を、ゴム成形原料の50～150重量%を混入して、指用リングまたは腕用リングに加硫成形した健康リング。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は指や手首に嵌めて、健康の維持増進をはかる健康リングに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 指や手首に嵌めるリングや時計バンド状のものに、永久磁石やゲルマニウムを組み込んだもの、突起部を形成して皮膚を刺激するもの、或いは多種類の鉱石粉末を樹脂に混入して固めたチップ状のものを、バンドの内面に取付けたもの等種々の健康用品が開示されている。（例えば特開平8-308941号公報、特開昭58-138467号公報、実用新案登録第3036771号公報、実用新案登録第3022827号公報、実用新案登録第3024623号公報）

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の指輪や腕輪に永久磁石やゲルマニウムを取り付けたものや、突起部を形成して人体のつぼを刺激するものは、基材が伸縮性のない金属やプラスチックを用いたものが多く、手首等に装着するものはリングの1箇所を切り離して素材のパネ効果を利用する、或いは金属線を密に巻いて伸縮性を持たせたものや、時計バンド状のものが使用されているが、この種の健康器具はその殆どが装身具を兼ねているため高価であるといった問題点があった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 上記の問題点を解決するために、本発明は、鉱物性漢方薬の一種として知られているコハクを主とし、微弱な放射線を放射して人体を刺激する効果のある酸化チタン等の金属性粉末をゴムに混入した原料を、指用リングや腕用リングに加硫成形して、これを着用することにより健康の維持増進を図るものである。

## 【0005】

【発明の実施の形態】 本発明健康リングは、生物のすべての酵素を活性化させるコハク酸を含むコハク粉末を主として、放射性物質を放射する酸化チタン等の複数種の金属性粉末を加えた混合粉末を、ゴム成形原料に重量比50～150%を混入して、リング状の指輪または腕輪に加硫成形したものである。

## 【0006】

【実施例】 実施例について図面を参照して説明すると、図1は本発明健康リングの斜視図で、(A)は指用リング、(B)は腕用リングを示し、図2は指用リング1と、腕用リング2を装着した状態例を示している。この図2では5本の指全部に嵌めたものを示しているが、ど

の指に嵌めるも自由である。指用リング1も腕用リング2もサイズは多種類を用意する必要がある。

【0007】 次に本発明の組成例を重量%比で示す。

ゴム原料 50

コハク粉末 35

酸化チタン 15

ゴム原料は合成ゴム7と天然ゴム3の割合とし、適量の炭酸カルシウムと活性亜鉛及び加硫剤を加えたものとする。

10 【0008】 上記ゴム原料に添加するコハクは、松柏植物の樹脂が地中で化石化したもので、コハク酸等の樹脂酸を含む非結晶の有機化合物であり、装身用宝石として古くから珍重され、性質は丈夫で軽く肌に当てると温かく感じる。コハク酸は生物の生理的機能を調整する重要な要素であることが知られており、中国では漢方薬として使用されている。

20 【0009】 スレブロドリスキー著、岡田康彦訳、読売新聞社発行、1993年7月10日刊行の著書「こはく」には次のように述べられている。コハクは、平均79%の炭素、10.5%の水素、10.5%の酸素を含有している有機酸の化合物で、その構造式は $C_{10}H_{16}O$ である。コハク100グラムには、81グラムの炭素、7.3グラムの酸素、少量の硫黄と窒素と鉱物物質がある。

30 【0010】 コハク酸は生物のすべての酵素を活性化させる働きがあり、1930年代にこのコハク酸は冷所に密封された生物組織をよく癒着させるようにするバイオ刺激物として医学に用いられた。L・N・コンドラショフは、その「組織のエネルギーの保障と機能状態をコハク酸によって調整」と言う労作(1971年)で、コハク酸を治療及び目的に立派に用いることができることを明らかにした。

40 【0011】 コハク酸が器官を正常化する作用は、心臓や肝臓の病的状態また自立神経中枢の年令による障害の回復経過を強化すること、さらにまた激しい筋肉作業や毒物、とくに毒薬が生体に作用したさいの回復経過を強化することに根拠がある。心筋が病的状態になった時の治療剤としてコハク酸はよい、として勧められている。コハク酸は健康な細胞には必要としないし、その細胞に入っていくことはないが、コハク酸は確実に病的な細胞をみつけたし、瞬間的にそこに入り込み、その器官の機能を維持するようにする。

50 【0012】 コハク酸の作用は経過を調整するだけでなく、失われた機能を回復させる、つまり死にかけたり、不活発になっている組織を復活させるといったことにある。コハク酸は生物がちょっと弱っている時に使用すると、非常に有効である、つまりコハク酸のおかげで、ひどい結果にならないように予防するのだ。また、他の薬物とあわせて用いることは、大きな将来性がある。コハク酸自体は全く無害であり、全くの非蓄積物であり、動

物や植物の組織を自然に正常化してくれるのである。

【0013】このようにコハク酸が人体に有効な働きを持つため、コハク酸粉末を大量に含んでいる本発明健康リングが肌に接触していると、接触部分が温かく感じ、血行を促進し身体を活性化して健康を維持促進することとなる。

【0014】酸化チタン( $TiO_2$ )は、太陽電池や各種センサ等を使用される半導体で、皮膚に当てると遠赤外線を放射し、人体を刺激してコリをほぐし、筋肉の痛みをやわらげ血行を促進する効果があることが知られ、肩こり等を治療する貼布型接触針(例えば、東北リコー社が発売している商品名「ウエルアップ」)等として利用されている。

【0015】金属粉末として上記したものほかに、酸化チタンと同様に放射性物質により人体を刺激して血行を促進する効果のある、酸化銀( $Ag_2O$ )や酸化タングステン( $WO$ )を混入する場合もある。

【0016】なお、図示及び説明を省略するが、腕用リングと同様に足首用リングを造ることもできる。

【0017】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する。 \*

\*【0018】基材をゴムとしたため、伸縮性があるため腕や指に嵌め易く、装着した状態で肌に密着して、ゴムに混入したコハク酸や酸化チタン粉末が人体を温めたり刺激して血行を促進し、活性化して健康を維持増進する効果がある。

【0019】基材をゴムとしたため成形が容易で、安価にできるとともに、主たる添加物のコハク酸は粉末とするものであるから、装飾品に適さない小さいものや、加工屑等を利用することができて安価に入手が可能であり、製品をコスト安に提供することができる。

【0020】美しく成形することにより、指輪やブレスレットの代用品としてアクセサリの役目を果たすことができる。

【図面の簡単な説明】

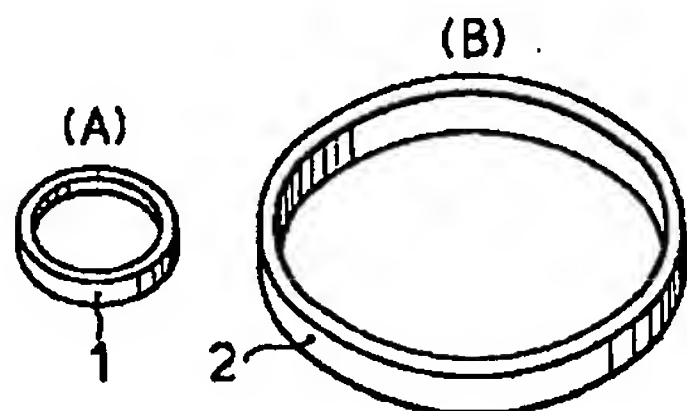
【図1】本発明品の一例を示す斜視図で、(A)は指用リング、(B)は腕用リングである。

【図2】指用リングと腕用リングの使用状態例を示す図である。

【符号の説明】

- 20 1 指用リング  
2 腕用リング

【図1】



【図2】

